

⚠ よく読んでからご使用ください

このたびは、アスバル ポリラッパーをお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この説明書をお読みいただき、正しくお使いください。
また、お読みになった後は、いつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

1. 特徴

- 1) アスバル電子サーモ
アスバル電子サーモを採用し、今までのサーモスタート方式と比較し比べ物にならないほど温度が安定しました。
- 2) ポリ用熱板、カッター刃
ポリオレフィンの熱特性に合せた形状とテフロンコーティングを採用し、確実な溶着とフィルムかすの残らない使い易さを実現しました。

2. フィルムの通し方

- 1) 右の図1のようにフィルムを載せる2本のローラーのうち、手前のローラーの下を通して手前に引き出します。
- 2) 図1-(1) ストレッチフィルムの時
作業台手前のローラーの下側を通してフィルムを引き出します。
- 3) 図1-(2) OPPフィルムの時
作業台の上にフィルムを引出して下さい。

図1-(1) ストレッチフィルムの時

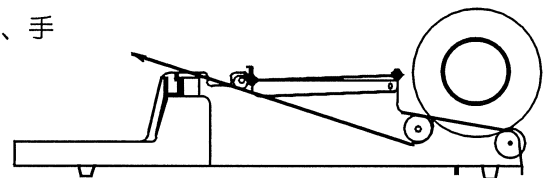
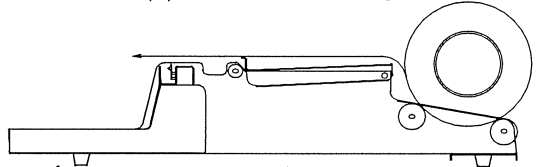


図1-(2) OPPフィルムの時



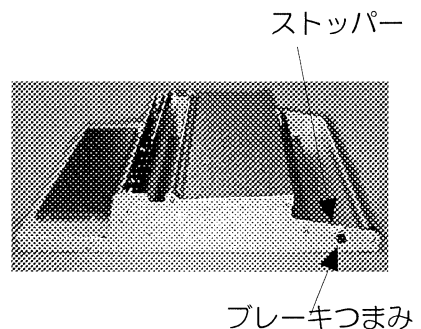
3. ご使用方法

- 1) 各部の点検
機械の各部の部品が外れかかっていたり、ビスやナットが緩んでいないか、ローラーの動きがスムーズに動くか点検をしてください。

⚠ ビスやナットの緩みはドライバー等で締め付け、部品の不足や作動の不良は修理に出してください。

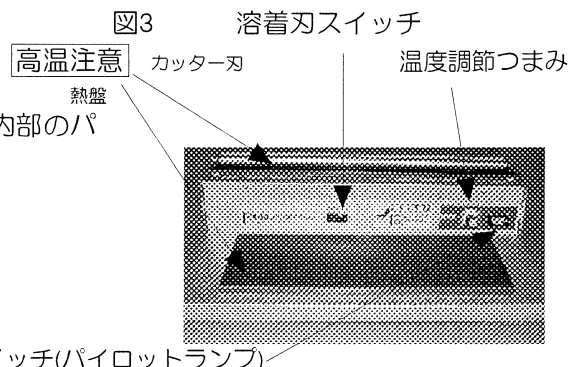
- 2) ブレーキ調整
フィルムを引き出した時に、フィルムが回り過ぎてローラに巻き付いたりする事が有ります。そうした時に、図2のストッパーを緩め、ブレーキつまみを締め付けて調整をしてください。調整が終わった後は、ブレーキつまみが緩まないようにストッパーを締め付けて固定します。

図2



- 3) 電源の入れ方
電源コードのプラグをコンセントに入れ、図3のメインスイッチをONの方に倒してメインスイッチ内部のパイロットランプが点灯することを確認してください。

図3



⚠ パイロットランプが点灯しない場合はコンセントに通電しているかを確認してください。

⚠ コンセントに異常のある場合は修理にお出してください。

メインスイッチ(パイロットランプ)

4) 熱板の温度調節

カッター刃や熱板が使用可能になるまで、数分間お待ちください、フィルムを試し切りして使用可能になった事を判断してください。(カッター刃の温度が上がりきる前に使用すると、カッター刃にフィルムのカスが付き易くなりますので、その際は雑巾で拭き取って下さい)

熱板は図3の電子サーモの温度調節つまみを回し、必要な温度に調整して、お使いください。

温度調整ダイヤルを最も弱い位置まで回しますと熱盤の温度はほとんど上がりません。必要以上に温度を上げますとヒーターの寿命が短くなります。OPPフィルムを使用する場合は電子サーモの温度調節つまみを0にして下さい。


! 絶体にカッター刃や熱盤に直接触れないでください、また本体の前縁部やステンレス部分も温度が上がりますので、直接触れると火傷の原因になります。

4. 包装方法

(A) ストレッチフィルムの時 → 溶着刃スイッチを OFF にして下さい!

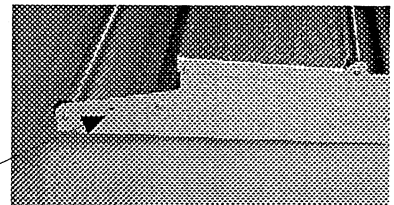
- 1) 包装物を作業台の上に置きフィルムを引き出し、包装物の上に覆いかぶせます。
- 2) フィルムの端を包装物の下端まで巻き込み、包装物といっしょに手前に引き、下に押し下げてカッター刃でフィルムを切断します。
- 3) フィルムの両端を手で引っ張りながら包装物の下面に押し付けて、包装物を熱盤に押し付け溶着します。

(B) OPPフィルムの時 → 溶着刃スイッチを ON にして下さい!
電子サーモの温度調節を0にして下さい!

- 1) 作業台の上にフィルムを引き出し、その上に包装物を置きます。
- 2) フィルムで包装物を巻き込み、包装物といっしょに手前に引き、下に押し下げてカッター刃でフィルムを切断すると同時に手前の溶着刃で溶着して下さい。
- 3) OPPフィルムは溶着刃 () に押えぎみに触るだけですぐにくっつきます。
[あまり長くくっつけていると]
・フィルムの溶ける煙や臭いが出る事が有ります。
・カッター刃に溶けたフィルムカスが付いて汚れ易くなります。

5. ご使用の注意

- 1) **!** 警告 絶対に、カッター刃や熱板に直接手や体の一部を触れないでください。
(火傷をする事があります)
- 2) **!** 警告 絶体に、水に濡れた手で操作をしないでください。
(感電する危険があります)
- 3) **!** 警告 絶体に、電源コードをコンセントに接続したまま水をかけないでください
水がかかった機械は完全に乾燥させてから電源コードをコンセントに接続してください。
(感電する危険があります)
- 4) 作業終了後は必ずスイッチを切り、電源コードをコンセントから外してください。
- 5) ご自分で修理したり、改造、分解をしないでください。修理の場合は販売店にご依頼願います。
- 6) コンロ等、熱の発生源となる物からは、機械を離して置いてお使いください。
- 7) 直接機械に冷風が当たったり、寒冷な環境でお使いになりますとフィルムが切れ難くなったり、熱板の温度が所定の温度まで上がらなくなったりします。
- 8) フィルムを装着したまま、持ち遅ばない様にして下さい。 図4
(足元に落下させ負傷する事があります)
- 9) 本品は単相100v 50-60Hzでご使用ください。
- 10) アースを取る場合は図4のブレーキつまみと反対側に取り付けられているネジに取り付けて下さい。



6. お手入れのしかた

- 1) カッター刃とテンションの間にゴミがおちていたら、取り除いてください。
- 2) カッター刃や熱板の上は雑巾などできれいに拭いてください。

朝日産業株式会社

〒456-0053名古屋熱田区一番三丁目3番1号

TEL 052-671-5191

FAX 052-671-5196